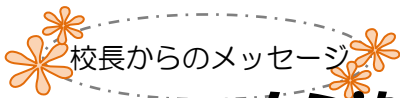


プラタナス

新宿区立四谷中学校
学校だより
第4号
平成23年5月31日



自ら決め、進んで取り組むことの意義や価値

前回、「自ら決め、進んで取り組むことの素晴らしさ」ということで、主に部活動のことを取り上げました。今回は、5月21日(土)に開催された運動会など学校行事を中心に、「自ら決め、進んで取り組む」ことの意義や価値を再度考えたいと思います。

5月26日発行の3学年の学年だよりに「一つ終わり、一つ階段を上がる」というテーマで第11回運動会のことが書かれていました。

運動会で良かったこととして、

- 1 実行委員を中心に自分たちで練習をやれたこと
- 2 意見の食い違いからぶつかったり、時には投げ出したりしたくなったり、しかし、みんなでそれを乗り越えることが出来たこと
- 3 旗づくりや綱編みなど手分けして協力してやれたこと
- 4 ムカデが男女つながった時に転ばなかったこと(11年目で初めてのことでした)
- 5 係の仕事を手を抜かずにやれたこと(中には「次何をやればいいですか」と、自分の仕事が終わったにもかかわらず声をかけてくる人がいたこと)

があげられていました。

これは、3年生でのことですが、他の学年や各クラスでも、今回の運動会について、おおむね良くできたとの評価がありました。

※ 生徒会広報では、練習の取り組み方について262名が、当日の取り組み方については266名が、「大変よくできた」「よくできた」と回答しています。

では、なぜ、このように満足度が高かったのでしょうか。普段の授業や学校生活と何がどのように違うのでしょうか。

それは、運動会や他の行事等について、四谷中学校では生徒が「自ら主体的に取り組む、成し遂げる」という伝統があるからです。先生や他の誰かからやらされるというのではなく、行事を自らの学校・学年・学級・個人の課題としてきちんと受け止め、それに対して努力するという文化や伝統が生きているということだと思っております。しかも、一人の例外もなくそれができるといふこと、これが四谷中学校の行事に対する意識や文化、伝統であるのです。

これはとても素晴らしいことです。もちろん、3年生の総括にあるように、途中で投げ出したり辞めなくなったり、トラブルが起こったりして、先生の助けを求めめることもありますし、先生も途中、指導に苦慮することもあるのです。しかし、結果として短い時間の取り組みにもかかわらず、行事は成功しています。

つまり、「自ら決め、進んで取り組むこと」によって、人は大きな力を発揮するということなのです。「主体的」という言葉がありますが、まさに、「自ら決め、進んで、取り組むこと」こそが「主体的に」取り組むということなのです。

では、普段の日常生活ではどうでしょうか。「自ら決め、自ら進んで取り組む」ことがどの程度できているのでしょうか。

たとえば、今年度から始めた読書活動、あるいは自主的な活動である生徒会活動(生徒会朝礼や委員会活動)など、本当に自分たちのものとなっているのでしょうか。また、授業ではどうでしょうか。押しつけられたものとして捉えるのではなく、「自ら決め、進んで取り組む」活動としてそれらができれば、運動会と同様、素晴らしい成果を上げることは間違いありません。

皆さんの「主体的な取り組み」により、次々と日常生活での成果が上がることを期待します。

第11回 大運動会

優勝



1年A組
2年C組
3年A組



5月21日に晴天の中、第11回四谷中学校大運動会が行われました。リレー競技に学年種目など、大変熱のこもった運動会になりました。各学年の優勝クラスから次のようなコメントをもらいましたので、ご紹介します。

1年A組 吉川 奨乃

ぼくたちは、中学生になってから初めての学校行事だったので、すごく緊張していました。でも、3クラスすべてが全力を出し切ることができました。

これらの経験を、来年の運動会やそれ以外の行事にも生かしていきたいです。



2年C組 金井 由実

「やったあ」「嬉しい」「良かった」それがC組が優勝と聞いた時皆が思った言葉だった。私達は最初まとまることができなくてすごく苦労した。優勝できるかも不安だった。しかし当日、皆が協力し声をかけ合い団結することができた。だからこそ2年C組は優勝というものをつかみとれたのだと思う。



3年A組 三瓶 尚央登

私達の一番の思いでは、学年種目のオオムカデです。最初は男女が一つにならず、毎回転んでばかりでした。でもクラス会議や、女子は男子の足をひっぱらないように、男子はなるべく女子にあわせるようにして、運動会当日では、第2位になることができました。2位はくやしいけど、クラスの絆が深まった行事でした。



転任された先生の挨拶

● 森田 基嗣 (国語科)

ありがとう四谷中学校

私が四谷中学校に勤務した7年間の間、四谷中は常に進化していたように思います。毎日の生活、学校行事の中で、一人一人の四谷中学生が一生懸命考え、悩み、行動して四谷中学校を「創って」きました。それがこの学校の「良き伝統」として受け継がれつつあります。「伝統」とは、先人の創ってきたものに自分達の思いや行動を付け加えることで、初めて成立するもの。皆さんの力を使って、四谷中をさらに進化させてください。

7年間たくさんの力をありがとうございました。

部活動結果報告

◆ 卓球部



新宿区中学校卓球春季大会 団体戦準優勝

◆ バドミントン部



新宿区中学校バドミントン春季大会 団体戦3位

◆ テニス部 3年C組 藤田マリアンさん



第37回東京都中学校テニス選手権大会(個人の部)で良い成績を修めたため、7月下旬の関東大会に出場が決まりました。